

互助会だより

会員交流会

楽しいひとときを

今冬の大雪で中止となった新年会を会員交流会として、3月23日の夕方5時から辰口福祉会館で開催しました。あらためて参加募集の案内を出し、会員48名の参加をしていただきました。

互助会長の挨拶の後、南理事長の祝辞と乾杯で和やかに宴会がはじまりました。お互いに杯を交わしながら親交を深めました。宴会の途中でビンゴゲームを楽しみ、そのあとはカラオケタイムに入り順番に曲が流れ、自慢の曲を披露していました。時間の過ぎるのも忘れてしまいました。多くの曲が流れ、楽しく歌っていたできました。

今回の交流会は、初めての取り組みでしたが和気あいあいのうちに終わりました。楽しかったとお声も聞くことができました。



交流会 乾杯!

産直市をめざして シヨウガの植え付け

多様な自主事業に取り組み、将来的には就労機会の確保を目指すこととなりました。

そこで、センター裏の畑を地権者の了解を得て借用することができ、今回はシヨウガの栽培に挑戦することになりました。

会員有志で、4月中旬ごろから畑を耕し、植え付けの畝を作りました。そして、5月1日にシヨウガの植え付けをしました。空いたところには、ジャガイモやかぼちゃなども植え、秋の感謝祭に出して販売できればと期待しています。

また、いろいろな時期に収穫できる野菜は、センターで販売していくこととしており、センターを訪れるお客さんや会員さんに買い求めて頂けるよう宣伝していきます。これからも会員有志で草むしりなどの作業をしながら収穫を楽しみにしています。

自主事業紹介 剪定枝葉 チップ化事業

能美市シルバー人材センターでは、資源の活用とゴミの減量化に取り組み一環として剪定枝葉のチップ化に取り組んでいます。この事業は、平成22年5月から国の補助事業である「企

画提案方式事業」の採択を受けて実施しました。採択事業は3年間で終了しましたが、自主事業として、今も継続して剪定枝葉のチップ化に取り組んでいます。



剪定枝葉の粉碎作業

チップ化された枝葉を2年から3年で自然に発酵させます。発酵したものが腐葉土化しますが、自然の状態であり、畑や花壇に入れて土と混ぜて使用することが出来ます。

腐葉土化した状態で、肥料袋に詰めて、能美市シルバー人材センター「感謝祭」のイベント会場で、畑など使っていた方々に安価でお分けしましたが、近年、有効性が口コミで広がり、少しずつ需要があり、チップ化作業に力が入っています。

作業は、前日の午後に剪定班が持込みした枝葉を、午前中にシュレッダーにかけてチップにします。場所は、国道8号バイパス沿いの手取川左岸の一角で、ビニルハウスもあり、持ち込まれた太目の枝は、切り揃えて薪ストーブの薪にできないか試行錯誤しています。

●チップの問い合わせは
当センター事務所
電話 58-4060

公益社団法人
能美市シルバー人材センター
〒923-1121 石川県能美市寺井町8番地1
TEL: 0761-58-4060 FAX: 0761-58-4061
E-mail: nomi@sjc.ne.jp

シルバーだより 能美

シルバーだより能美
第2号
平成30年7月1日発行

題字：会員 山崎 豊行 氏

JA 根上から借りた畝上げ機を取り付けた専用トラクターでの作業風景

丸いも植え付け作業

ゆず山の管理 協力会員募集中

シルバー人材センターでは、和気地内でゆず山を管理しています。ゆずの栽培をお手伝いして頂ける会員さんを募集しています。作業として、80本ほどのゆずの木の除草刈り、伸びた新枝の剪定、ゆず実の収穫などを月1〜2回で、作業時間は午前中2時間程度です。ゆずに興味のある会員をお待ちしています。

熱中症に注意を!
こまめに水分補給をしましょう
暑さを避け、体調に気をつけましょう

編集後記

平成30年度定時総会が終わり、南理事長の新体制2年目が始まりました。

会員数の減少が気にかかるころではありますが、会員相互の協力で活発なシルバー人材センターになることを期待しています。

昨年度の目標でありましたシルバーだよりの創刊号を発刊しましたが、ようやく第2号を発刊することができました。

これからも、会員の情報紙としての役割を担い、読んでいただけるシルバーだより「能美」となるよう努力していきます。

(編集委員 粟生山 伸二)

就任2年目を迎えて

公益社団法人能美市シルバー人材センター
副理事長 高 修 二

昨年度の定時総会で南理事長とともに副理事長という大役を仰せつかり、この1年間をどうにか過ごしてきました。

中長期計画が策定され初年度となる年でもあり、様々な目標に向かって事業を進めていかなければならないことへの不安が頭を過りました。中長期計画を何度か読み返し、自分分に出るかを考え、少しでも行動に移すこととしました。

定年延長や就労形態の変化で新規に入会する会員が少なく、会員数が減少傾向にあるなか、どのように入会者を増やしていけばいいのか。啓発活動だけで会員が入会してくれるだろうか、もつとほかにやることはなにかと考えてみました。入会しても依頼される仕事が無ければいつしか退会してしまいます。会員であることで、何か楽しいことがあれば入会していただけるのではないかと。趣味の教室とか野菜作りとかを開催すればどうかと考えてみました。今年、理事長の提案で春から野菜づくりを始めました。またゆず栽培に携わる会員の募集も始めました。趣味の教室とかはセンターの施設状況とかもありますが、今後少しでも興味のあることが出来ないか提案していきたいと考えています。

(公社)能美市シルバー人材センター 平成30年度定時総会開催

事業報告・収支 決算承認される

平成30年度能美市シルバー人材センターの定時総会を、会員88名の出席を得て辰口福祉会館交流ホールで開催しました。

南忠治理事長は開会に当たり、就任1年で念願の「シルバーだより」を発刊できたことや職群班の班長・リーダー研修を開催したこと、そして今後も普及啓発活動を推進し新規会員拡大



挨拶をする南理事長



祝辞を述べられる細川副市長



議長を務める中出さん

に努めていくとの挨拶に続き、公務出張中の井出市長の代理としてご出席いただいた細川喜孝副市長から祝辞を賜り、石川県シルバー人材センター連合会の須野原雄会長のメッ

セージが披露されました。その後、中出宅次議長のもと議案審議に入りました。事務局より中長期計画に添った1年目の成果などが折り込まれた平成29年度事業報告と収支決算の説明があり、全会一致で承認されました。続いて、平成30年度事業計画・収支予算(案)の報告がありました。また、任期途中ではありませんでしたが、一人上の都合で退会された理事と市から出ています理事・監事の課長が人事異動で退任されたことに伴う新理事・監事の役員補充案件についても承認されました。今回は、受付で能美防犯協会他関係機関が作成した「振り込め詐欺に気をつけて！」のチラシを出席者全員に配布し、注意を呼びかけました。

新役員の方々

理事 中 則義
中 守重
監事 竹田 政紀
(任期：前任者の残任期間)

ホームページをリニューアル

能美市シルバー人材センターのホームページは、開設してからは新たな情報の更新をしてこなかったことから、今年度リニューアルすることになりました。

職群班班長・リーダー研修 開催する

今年度の主要事業でありました「班長・リーダー安全・適正就業研修会」を各地区の職群班の会員22名の参加を得て、平成30年2月28日 寺井地区公民館において開催しました。南理事長の挨拶のあと、石川県シルバー人材センター連合会の稲本等事務局長から、安全就業についての講義をいただきました。

稲本事務局長は、今年度発生した事故件数、事故内容について事例を交えてお話しされました。特に、安全対策をしっかり守って作業することが重要であり、重篤な事故が発生すれば会員さんが一番不幸になることを説明されました。いま一度基本に戻り、安全意識を高め、健康に気を付けて作業に関わっていただくことを繰り返してお話されました。



講話を聞く班長・リーダーの会員

安全委員会より 必ず健康診断を受診しましょう

市役所から「特定健康診断」の案内が届いたら必ず医療機関で受診してください。健康で楽しくお仕事をしていたことがシルバーの目標であります。年齢や能力に応じて軽スポーツなど体を動かして健康づくりに努めてください。

安全標語の推薦作品が決まる

毎年、安全委員会では、安全意識の高揚を図るために、安全標語を募集しています。今年も安全につながる「安全標語」の応募が40作品ありました。

応募された標語は、安全委員による投票により5点に絞り、石川県シルバー人材センター連合会主催の「安全就業標語コンクール」に推薦しました。推薦しました作品のなかから西納清司さんが県の優秀作品に選ばれました。7月の石川県就業安全大会の席上で表彰されます。

能美市シルバー人材センター の選考作品5点

- ・安全は 聞いて確認 見て確認
 - ・事故は 慣れた作業の 油断から 忘れるな ハッとしたあの時 あの仕事
 - ・点検は 無事故につながる 第1歩
 - ・作業前 意識高める 合言
- 標語に有りますように、今一度安全について、作業点検、安全意識の確認をしてください。

平成30年度 石川県シルバー人材センター安全標語優秀作品

西納 清司 作

点検は 無事故につながる 第1歩

国の採択事業で昨年度から取り組んでいます丸いも栽培は、芽が出、つるまきの時期となっています。今年度は、JA根上から借りた西二口町内の田んぼ約40a(4反)に丸いもを植え付けることができました。面積は、昨年度より1.3倍となっています。地域ブランドでもある丸いもの生

事業2年目を迎えた 地域就業機会創出・拡大事業

丸いも作付け面積を拡大。今年度は、JA根上から借りた西二口町内の田んぼ約40a(4反)に丸いもを植え付けることができました。面積は、昨年度より1.3倍となっています。地域ブランドでもある丸いもの生

た。平成29年12月までに基本的な内容を整え、平成30年4月からリニューアルしました。会員向けに様々な情報を発信し、互助会の事業など掲載していきます。また、全国シルバー人材センター連合会へのリンクなどもでき、多くの情報を得ることが出来るようにしました。是非、アクセスしてご覧ください。
<http://webc.sic.ne.jp/nomi/>

日頃の感謝を込めて 今年も感謝祭を開催

昨年に引き続き11月後半には、市民への日頃の感謝を込めて「能美市シルバー人材センター感謝祭」を開催する予定です。多くの会員の皆様の参加をいただき、企画をしていきたいと考えています。そこで、ご自分で野菜を栽培され、出品販売できる会員さんを募集しています。詳しくは、シルバー人材センター事務局までお問い合わせください。



産収量の確保を目的に、シルバーとして少しでも地域貢献ができ、会員の就労機会が増えることから、取り組んでいる事業です。興味のある会員さんの参加を待っています。

シルバー会員 募集中

能美市シルバー人材センターは、いつでも入会できます。市民の方や能美市内の企業からの依頼による軽微な仕事に携わることができる方を募集しています。定年延長などにより入会者が減少しています。会員の皆さんで、会社の同僚やサークルなどで知り合いの方をぜひご紹介ください。

入会条件：市内在中で健康で働く意欲のある60歳以上の方

入会時期に関係なく登録入会金 1,500円が必要です。